

科目名：聖書重要教理Ⅰ&Ⅱ

担当教師：藤原導夫

講義日程：前期 2017 年 4 月 7 日～9 月 22 日、後期 10 月 6 日～2018 年 2 月 9 日

講義時間：金曜日午前 11:00～12:30（90 分）

【講義概要】

福音主義キリスト教の内容となっている主要な教理を、聖書に基づきつつ組織的・体系的に学ぶことにより、キリスト教信仰とは何かということを明確に理解することを目指します。

【クラスの進め方】

下記の諸テーマを年間 30 回（前期 15 回、後期 15 回）にわたって共に学びます。特定のテキストは用いず、資料は必要に応じて教師から学院生にわたす方法でクラスを進めていきます。

- 1、聖書重要教理序論(この学びの性格と必要性)
- 2、聖書について(一般啓示、特別啓示、神の言葉)
- 3、神について(創造者、全知全能、三位一体)
- 4、人間について(神の像、労働、男と女、墮落、救済)
- 5、キリストについて(神の子、救い主、神人二性、三位一体、キリストの三職)
- 6、救いについて(信仰、義認、聖化)
- 7、聖霊について(キリストの霊、三位一体、教会と共にある霊)
- 8、教会について(その本質、そのしるし、その歴史、教会政治)
- 9、終末について(終末論諸説)
- 10、十戒について(聖書の教えの基礎)
- 11、主の祈りについて(祈りの模範)
- 12、使徒信条について(初期の信仰告白)
- 13、その他

【成績評価】

単位認定は出席率が 70%（前・後期で 21 回）以上が必要です。試験は行いませんが、クラス参加度が評価されます。